

日本沿岸域学会 研究グループ 研究計画提案書

平成 21 年 3 月 31 日

①	研究テーマ	都市臨海部における渚空間創出の具現化に関する研究						
②	目的	2004 年から実施されている大阪湾水質一斉調査の結果によれば、夏季の港湾海域の貧酸素化は極めて劣悪な状況にあり、台風などのイベントによっても容易には解消されないことが明らかになった。このことは、港湾海域における自然再生を成し遂げるためには、水質の改善を手助けすることができるような人為的要素が必要であることを示している。このような背景の下、都市機能としての魅力的な渚空間を臨海部に創出するために、物理的・化学的・生物学的な見地から具体的な提案を行うとともに、それを具現化するために必要な技術的・法律的課題を抽出し、改善案を提言することを目的とする。						
③	活動内容	開発が進み、高度に人工利用されている内湾環境を改善するためには、低・未利沿岸域の陸域および海域を含む沿岸域の積極的かつ総合的な環境改善対策が望まれる。特に、海岸線の人工化が著しい大阪湾奥部および北部・東部海岸には浅海域の造成が期待されているが、これを果たすためには、技術的な課題をクリアするだけでなく、行政上の手続きをもクリアしなければならない。本研究グループでは、港湾行政に係わる諸機関に対して環境改善の具体的な改善手法を示すと同時に、それを実行するためにクリアしなければならない行政上の課題を明らかにする。						
④	グループの構成	氏名	会・非	専門分野	所属・役職	住所	電話番号	FAX番号
グループの構成	世話人	重松孝昌	会	海岸工学	大阪市立大学・准教授			
	グループ構成員	遠藤 徹	非	海岸工学	大阪市立大学・助教			
		大塚耕司	会	海洋システム工学	大阪府立大学・教授			
		大谷壮介	非	海岸工学	京都大学大学院工学研究科 附属流域圏総合環境質研究センター・研究員			
		国分秀樹	非	内湾環境	三重県水産研究所・研究員			
		日下部敬之	非	生態学	大阪府環境農林水産総合研究所水産技術センター・主任研究員			
		辻本剛三	会	海岸工学	神戸市立工業高等専門学校・教授			
		矢持 進	非	生態学	大阪市立大学・教授			
⑤	日程表	研究期間	平成 21 年 6 月～平成 23 年 3 月		開催頻度	2ヶ月に 1 回程度の頻度で開催する。		
		開催場所	主に大阪で開催する		⑥	研究運営費		